

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	見える木曽馬の里づくり事業
事業主体 (連絡先)	木曽町役場 開田支所 木曽馬の里振興課 産業振興係 (0264-42-3331)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大に関する事業 ア特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,182,950 円 (うち支援金 : 761,000 円)

事業内容

- A, 国道 361 号線沿いへの試験放牧を 4 か所で実施
既存の 2 か所に加え、2 箇所 (トンネル出口白
樺林、彩菜館横大見沢駐車場付近) で新たに実施
した。
- B, R 2 年度に造成した試験放牧地へ播種を行い、
採草地風景の復元を図った。

- ・試験放牧 ラボ横…………… 7 月
水生植物園… 8 月
大見沢…………… 9 月
白樺林…………… 10 月



【白樺林放牧地の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 木曽馬を国道沿いで放牧することにより、開田高原に木曽馬がいることを印象づけることができる事業となり、今後も有効な手段の一つであることがわかった。
- ② 木曽馬を中心とし、草地再生を行うことが、自然環境・生物多様性を保全・維持することに繋がる。進めていくには、地域住民の協力が重要であると再認識した。

【目標・ねらい】

- ① 観光資源としての活用・保存方法の模索
- ② 木曽馬に関わる景観形成の方向性の明確化

※自己評価【C】

【理由】

- ・コロナ禍により観光客が少なかつたため、木曽馬をアピールできなかった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

2 年元気づくりを活用してきた結果をふまえ、情報発信の方法等を工夫することにより木曽馬の里を目的地として訪れてもらえるような方策を検討し、今後の来場者増へ繋げていく。

木曽馬の里リニューアルに向けた具体的な運営方法やあり方の検討資料とする。また、採草地の復元やニゴづくりなど木曽馬文化と関連させた景観的調和を図る。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある